

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の県北での流行が続いています



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓1,128	1,672	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↓ 14	39	ヘルパンギーナ	↓ 2	5
咽頭結膜熱	↓ 28	30	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 78	93
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 57	76	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 432	464	流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 23	12
水痘	↑ 10	9	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 1	3	無菌性髄膜炎	↓ 0	2
伝染性紅斑(りんご病)	↓ 40	52	マイコプラズマ肺炎	↓ 3	12
突発性発しん	↓ 19	25	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑ 17	7

報告が多い感染症
 ● インフルエンザ
 ● 感染性胃腸炎
 ● 流行性耳下腺炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
 インフルエンザ : 山鹿、水俣、宇城、人吉、有明、八代、天草、菊池
 咽頭結膜熱 : 菊池
 感染性胃腸炎 : 有明、山鹿、八代、菊池
 伝染性紅斑 : 宇城、熊本市、菊池

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	247	9	5	31	93	1	1	16	13			17		23			3		15
山鹿保健所	82				27			3				11	*	*					
菊池保健所	95		17	6	60	1		5				17							
阿蘇保健所	77			4	10								*	*					
御船保健所	54				21			1					*	*					
八代保健所	105	2	1	3	52	3		1				2							
水俣保健所	59		3		8								*	*					2
人吉保健所	82				12	1		1	3			7	*	*					
有明保健所	131		2	4	103	1		2				19							
宇城保健所	99	1		7	18	3		7	1			4	*	*					
天草保健所	97	2		2	28			4	2		2	1							
計	1128	14	28	57	432	10	1	40	19	0	2	78	0	23	0	0	3	0	17

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	1128	2	9	48	53	53	65	74	67	66	68	81	177	44	30	75	77	48	54	17	20
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	14	5	2	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	28	1	2	6	6	4	2	4	1	1	1	0	0	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	0	0	1	0	8	5	14	2	8	6	6	6	0	1						
感染性胃腸炎	432	3	13	59	56	40	43	33	32	14	22	17	38	11	51						
水痘	10	0	0	1	0	3	1	0	1	3	0	1	0	0	0						
手足口病	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
伝染性紅斑	40	0	1	0	1	7	10	7	8	2	4	0	0	0	0						
突発性発しん	19	0	9	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	78	0	0	7	12	18	13	12	7	4	2	1	1	0	1						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	23	0	0	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	4	3	2	3	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	17	4	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

流行性耳下腺炎の県北での流行が続いています

第12週の県内の流行性耳下腺炎の報告数は、78件で、前週の93件より減少したものの、県北部での流行が続いています。保健所別では、山鹿、有明、菊池が注意報レベルを超えています。県北地域に局限した流行が見られています。流行性耳下腺炎は、2~3週間の潜伏期間のあと、唾液腺や耳下腺のはれや痛みを主症状として、発症し、通常1~2週間で軽快するといわれています。感染力は強く、接触あるいは飛沫感染で感染します。合併症として、1,000人に1人の割合で生じる難聴や、髄膜炎などがあります。唯一の予防法はワクチン接種です。集団生活に入る前のワクチン接種が効果的と言われています。接種にあたっては、

インフルエンザは減少が続いています

3月21日~3月27日の県内のインフルエンザの報告数は、1,128件で2月29日~3月6日の3,012件をピークに減少が続いています。しかし、保健所別では、熊本市、御船、阿蘇を除くすべての地域で警報終息に至っておらず、まだまだ注意が必要です。感染拡大防止のため、外出から帰宅した時や食事の前には時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。また、マスクを着用するなど、咳エチケットにも努めましょう。

